

プログラム説明書

団体名	特定非営利活動法人 どんぐりネットワーク		
プログラム名	森林と水のつながりを知ろう・学ぼう！		
概要	森林にはどのような働きがあり、私たちの暮らしにどのような関わりがあるのか、座学や体験を通して学びます。		
ねらい	森林の働きを知る中で、「もし森が無かったらどうなるのか」、より身近に、より自分にも関係する事として考えてもらうプログラムです。		
対象者	小学3年～中学生	人数	35名程度まで
実施場所	教室又は体育館(座学) 校庭等屋外(体験)	実施時間	45分～1時間まで
学校の準備物	パワーポイント投影物品(プロジェクター、スクリーン、HDMIケーブル)、水道水(30ℓ程度)、コンクリートブロック9個、三角コーン	実施団体の準備物	パソコン、浸透実験装置一式
安全上の注意事項	浸透実験装置からスタッフが離れる場合は、三角コーン等を設置し、児童が近づけないよう配慮を行います。		
雨天時の対応	浸透実験は軒下等、雨天時でも児童が濡れない場所や、汚れ防止対策を施した上で体育館等、協議の上で場所を選定します。		
アピールポイント	森林の働きや役割を、実験を通して理解する中で、森林が、ただそこにあるだけの存在から、「自分にとって大切な存在」へと変わるきっかけとなる事を目指し、生徒自身が主体となって参加できるようなプログラム展開を行います。生徒の学年や実施場所等の環境に応じ、柔軟に対応します。		

プログラムの進め方

【導入】

○森の働きや水とのつながりを知ろう！(座学・15分)

森ってどんな所？ 水って何だろう？ 水はどこからやって来るの？ 森に降った雨はどうなる？ 森の大切な役割って何だろう？

様々な問いかけやクイズ等を通して、森の働きや水との繋がり、森林の持つ多面的機能や、人(自分)との繋がりについて学びます。

【展開】

○雨のゆくえを見てみよう！(実験・20分)

森林、草地、裸地を再現した実験装置(ライシメーター)に雨を降らせて、水の流れ方の違い、流れ出る時間や色の違いを観察します。



【まとめ】

○もし森林がなかったらどうなるか考えてみよう！(10分)

森と水のつながりや、役割についての学びを、自分なりの言葉でまとめてもらいます。